

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	西町地域センター・生きがいセンターにしまち・にしまち児童館・西町学童保育所	所属名	市民生活部 協働コミュニティ課・福祉部 高齢福祉課・子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社こどもの森	指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設の設置目的	地域センター:市民の集会、学習及び交流の場として国分寺市立地域センターを提供し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与するため。 生きがいセンター:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。 児童館:児童厚生施設として、遊びの場を提供し、子どもたちの健全な育成や親の子育てを支援する。 学童保育所:保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	地域センター:コミュニティ施策の推進、地域センターの管理運営及び施設の貸出しに関すること。 生きがいセンター:60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。 児童館:子どもに対する遊びや文化の提供、子どもの健全育成に係ること。 学童保育所:子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係ること。		

単位:円

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入		68,990,729	71,674,523	70,365,063	211,030,315
収入内訳	指定管理料	68,876,320	70,264,859	69,735,666	208,876,845
	利用料金	0	0		0
	その他	114,409	1,409,664	629,397	2,153,470
支出		68,833,119	71,585,567	70,190,628	210,609,314
収支差額		157,610	88,956	174,435	421,001

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
画収 確性 支 適計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	予算額に対し決算額が超過している予算科目が一部あるものの、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業務の 履行 状況 の 評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書に基づき適切に業務が実施されていた。職員同士の情報共有のコミュニケーションアプリや連絡ノートを活用し、円滑な管理・運営に向けた工夫がされていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	業務仕様書等に定められた開館日数・開館時間が守られていた。	3	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置をしていることを確認した。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者、放課後児童支援員及び認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できる書棚に保管するなど、適正な管理をしていることを確認し、事務室内は書類が整理整頓されていた。児童館での怪我の報告等も迅速に報告されていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	衛生管理に係る計画に基づき、日常業務の中で職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた点検等は遅滞なく実施された。	3	3

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	【西町地域センター】 利用率:43.5%	【西町地域センター】 利用率:40.8%	【西町地域センター】 利用率:42.1%	【西町地域センター】 利用率:42.1%
	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,058人 (内訳) 個人利用者数:2,023人 団体等利用者数:2,035人 利用率:33.3%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,340人 (内訳) 個人利用者数:1,794人 団体等利用者数:2,546人 利用率:40.2%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:5,219人 (内訳) 個人利用者数:1,579人 団体等利用者数:3,640人 利用率:41.9%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,539人 (内訳) 個人利用者数:1,799人 団体等利用者数:2,740人 利用率:38.5%
	【にしまち児童館】 延べ利用者数:11,224人 【西町学童】 利用率:84.3%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,130人 【西町学童】 利用率:90.7%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,740人 【西町学童】 利用率:92.0%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:16,019人 【西町学童】 利用率:89.0%
利用者満足度(%)	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 97%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 95%
	【にしまち児童館】 100.0% 【西町学童】 97.5%	【にしまち児童館】 98.0% 【西町学童】 91.7%	【にしまち児童館】 91.0% 【西町学童】 92.9%	【にしまち児童館】 96.3% 【西町学童】 94.0%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	西町プラザ及び西町学童保育所の全ての施設において90%以上の満足度を得ており、高い水準を確保している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	公共施設予約システム利用者端末での操作が不慣れた利用者に対し、スムーズな手続が行えるよう、積極的に補助を行った。また、児童館においては子どもたちの意見を職員の回答つきで館内に掲示し、学童においては手作りおやつ、手作り昼食も実施し好評であった。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	職員のマナー、言葉づかい、服装等は公共施設であることを十分に認識し、適切であった。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	適宜研修を行い、事故の連絡マニュアルも事務室内に掲示していた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報管理に係る計画に基づき、個人情報記載された書類については、施錠できる書棚に保管するなど、厳格な情報管理がなされていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づき、全ての研修が実施されていた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	利用者ごとの特性に応じた適切なものであることを確認した。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準の特性に評価した	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見を西町プラザの運営に反映すること)	3	利用者協議会が4年振りに開催され、利用者間の意見交換や調整を行っていた。	3	3
	地域との連携(西町プラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	4年振りに規模を縮小して西町プラザまつりが開催された。実行委員会と地域住民との連携により活動発表やバザーなど様々な企画を実施し、多世代交流が図られた。	3	3
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を、地域特性、複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	3	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業として、利用者から継続希望のある「落語会」を企画し実施した。	3	4
	自然災害等への対応	4	児童館では、引き続き館内に子どもが書いた避難経路のポスターや避難経路地図が複数掲示され、机上訓練も含め令和4年度よりも多く毎月避難訓練を実施した。学童では、計画通り2か月ごとに避難訓練実施した。	3	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	老人会とのしめ縄づくりや敬老の日に向けたメッセージ作りなど複合施設ならではの交流を行った。学童では、八小の家庭科室を借用した分散保育を継続し、放課後プランとも連携し参加していた。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置しており、配慮を要する児童については学校の担任とも連携していた。アレルギー児のおやつは保存している棚や皿を分け氏名も記載し適切に対応していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度	前々年度
関実提案 する内容 の状況 評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無	提案有無
					実施有無	実施有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無	提案有無
					実施有無	実施有無

主管課長の評価				
総合評価	評価の理由等		前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>【西町地域センター】 使用承認業務や施設維持管理等は、条例・規則等の規定及び協定書・仕様書の内容に基づき実施され、法定点検も遅滞なく行っていた。また、公共施設予約システムに対して「利用しにくい」との意見をいただいたが、窓口できめ細かい補助を行うなど利便性の向上に努めていた。施設使用料の納付に係る適格請求書の交付については、年度途中の事務処理変更であったが、適切に処理が行われた。 自主事業では、利用者のニーズに応え、地域センター及び生きがいセンター利用者団体の合同作品展覧会を実施し、利用者の交流機会が提供された。</p> <p>【生きがいセンターにしまち】 市の方針に沿って、迅速かつ丁寧な対応を利用者へ行っており、大きな混乱もなく、運営がなされていた。公共施設予約システム導入において、利用者には丁寧な説明と案内を実施し、スムーズな運用を実施している。自主事業においても、状況にあわせて工夫を凝らし実施されていたので、今後も利用者へ寄り添った運営を期待する。</p> <p>【にしまち児童館・西町学童保育所】 児童館については、にしまちカフェなどの乳幼児親子向けの行事やウエストタウンまつりを再開し、また、カードゲーム大会等の様々なイベントを実施するなど、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、児童館では毎月避難訓練を実施し、自然災害への対応を適切に行っていた。学童保育所については、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行うとともに、手作りおやつを月2回実施するなど丁寧な保育が実施され、利用者アンケートの御意見でも好評な様子が見られた。今後も学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。</p>	3	3
主管課長：協働コミュニティ課長 氏名：小坂 彰久 主管課長：高齢福祉課長 氏名：澤田 元織 主管課長：子ども子育て支援課長 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価	評価の理由等		前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>利用者の言葉に耳を傾け、利用者が快適に過ごせる様に改善を行った。自主事業として季節が感じられる皆の憩いの場となるように、施設内の飾りつけを行い利用者に季節を感じてもらった。利用者協議会の活動を活性化させるためにその資金となる資源物回収に協力した。利用者の「やりたい」という声を聞き、今年度は西町プラザまつりを開催し多くの方に楽しんでもらい、地域の活性化に努めた。利用者協議会役員会と連携した。作品発表の場として生きがいセンターと地域センターの利用団体による展示会を企画実施した。</p>	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価	評価の理由等		前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>子どもから高齢者まで利用する複合施設として、来館者一人一人に丁寧な対応を行っていた。地域センターにおいては、年度の途中から開始された消費税における適格請求書等の発行事務の対応を行った。また、西町学童保育所においては、狭あい状況への対応として、学校の協力を得て学校施設を借用した分散保育を行っていた。アンケートに記載があったことへの対応も行っていた。令和6年度から新たな指定期間となった。引き続き確実な施設運営を行っていただきたい。</p>	3	3